

●里山の会 2021年度後半の慰労会実施 ご参加を 4月24日 11時ごろ

今年後半は竹蛇籠製作が9月12日から始められ、中聖牛製作と設置、中聖牛完成や親子花見乗船体験、春の野草を味わう会等大きな取り組みを連続して成功させて頂きました。随分ご苦労があったと思われます。里山の会としてすごい取り組みを担っていただきました皆さんの労苦を慰労する場を4月24日に開催を決定いたしました。当日の午前中は炭焼き釜開きを行いまして、12時過ぎから里山農園教育棟に移動してささやかな昼食をいただきながら慰労の場とさせていただきます。特に今年の取り組みでは幼児や子どもたちが寒い河原を駆けまわったりしながら大人の仕事を手伝ってくれました。いつもであれば疲れが先に立つ大人が元気をもらって仕事にスピードがつき、昨年より短期間で多く出来上がることがありました。

●2021年度第3回理事会開催 4月20日 25年記念功労表彰者決まる 11名のうち出席は7名で成立

4月20日の午後に2021年度の第3回理事会が開催され、2022年度の第28回通常総会の議案が議論されました。議案はすでに社員各位に配布されていますが、理事各位から出された意見は、大部分が補強する内容でした。話題になったのは2022年度の魚とりの回数問題や準備作業の在り方とカヌーの指導者講習会の開催についてとがありました。ほかに2022年度支出予算の計算表記に修正すべきとの指摘がありました。

●炭焼き釜 窯開き 4月24日 9時から打田で行います。先にもお知らせいたしましたが、着火が難しく徹夜で燃やし続けるなどの苦労をしていただきました。ですので出来上がりが大変気になります。これ迄の経験では一回の炭焼きで平均280kgの製品に仕上がる予定なのですが、素人集団の里山の会ではどれくらいの歩留まりで完成品になっているのでしょうか。楽しみな窯開きです。

●総会時の経過報告補強者決まる

29日に開催される第28回通常総会ではこれまで通りでは常務理事の報告と方針の提案などで進行してきましたが、全般的な報告に加えてイタセンパラの取り組み、京都府交響プロジェクト報告、国交省淀川河川事務所からの木津川植生調査管理業務や京都大学からの中聖牛・竹蛇籠の取り組み、そしてできればパソコン教室の取り組みなどについての補強説明を分担することにしました。大いにご期待ください。又次年度の方針と予算案ではこれまでとは大きく違って各事業ごとに予算を割り振って、責任者の下で事業推進を図っていただく内容の予算に変更された内容になっていますので、それぞれで多いに知恵を発揮し、できるだけ創意を工夫して事業にあたってもらえるように改められています。積極的な内容に改善しながら取り組んでいただけるようになりまし。新しい取組が成功するように頑張ってください。

●2021年度会計監査実施承認される 4月21日 坂田一郎さんと森幾久子さん 小川さんが丁寧な記帳に努められていると評価をいただきました。また事務所の移転についても仮設事務所として住居の玄関前に仮事務所が作られご心配ご迷惑をかけることになるので多くの配慮が必要ではないのか。などと意見をいただきました。いずれにしても今年度は会計処理をお願いしてきた小川さんが1年間を通じて真剣に取り組んでいただいた結果報告として提出いただきましたものです。収支がぴったり合っている立派な記帳であったことに敬意を表したいと思います。ご苦労様でした。

●京田辺市文化協会 青葉の集い 展示で参加 各自検温表を提出

文化協会から5月15日開催される案内が届きました。里山の会は10mに及ぶ広い展示場を与えていただきました。事務局会議でどのように展示物を用意しようかと頭を悩ましています。これはカラオケを主体に発表される予定のようです。中聖牛やイタセンパラ、それにこれまで取り組んできた案内ポスターをとの意見が提案されました。

●2022年度第28回総会実施 4月29日(金) 13:30～ 京田辺市中央公民館
社員の皆様都合をつけて欠席なきようお願いいたします。

●2022年度京都府交響プロジェクト交付金の案内が届いています 2020年度は満額の200万円を交付いただき大きな成果を上げる事ができました。2021年度は有田さんの奮闘で330万円事業報告書を提出しました。どれくらいの査定(交付金)を頂けるのか楽しみです。さて2022年度については重点課題プログラムと基盤強化プログラム、団体運営向上プログラムの三つの区分があります。これ迄里山の会は重点課題プログラムに応募してきました。この分野特徴は謝金・旅費・諸費に加えて人件費分(最高額50万円がもうけられていることです。申請締め切りは6月30日ですので積極的なご提案をお寄せください。

●里山農園の丸山の急傾斜地改良工事が進みました

昨年同志社大学サッカー部ボランティアによって長年放置されてきた丸山がしっかりと姿を現し、急傾斜地の除草作業がハンマーモアでも処理できるように傾斜地を改善していただきました。子どもたちにとって少しスリリングな場面か小さくなりましたが維持管理する面からすれば行いやすくなりました。又広場が増えましたので創意を發揮しての工夫をご提案してください。又同志社大学サッカー部ボランティアの副主将から今年もボランティアで協力するとの連絡をいただいています。今年は白土山への周回通路開設のための整備を時間をかけて進めてみてはどうかという意見がありました。

